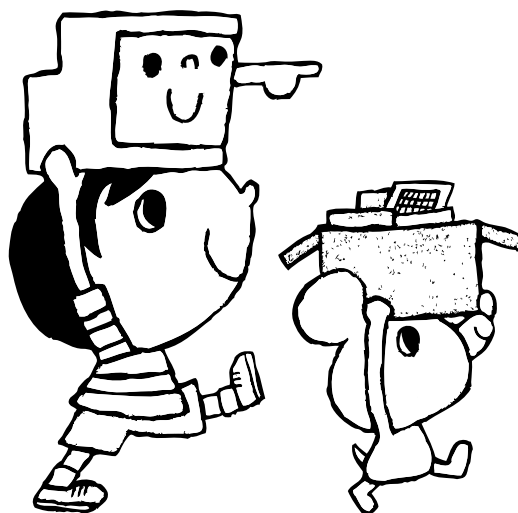


Annual Report 2005

特定非営利活動法人イーパーツ・活動報告書 (2005.7 ~ 2006.6)



もくじ

1.	イーパーツとは	
1-1.	活動目的	3
1-2.	2005 年度、イーパーツの主な活動	4
1-3.	スタッフ紹介	5
2.	イーパーツの寄贈プログラム	
2-1.	寄贈プログラムについて	6
2-1.	リユース PC 寄贈プログラム	8
2-2.	リユース PC で地域と連携	10
2-3.	リユース PC 寄贈プログラム寄贈団体一覧	12
2-4.	笑顔のメッセージ 1	14
2-5.	リユースカラーレーザプリンタ寄贈プログラム	16
2-5.	笑顔のメッセージ 2	18
2-5.	周辺機器寄贈プログラム	20
3.	レクチャー・スペシャルプロジェクト	
3-1.	レクチャー・スペシャルプロジェクト	22
3-2.	2005 年度実施記録	34
4.	イーパーツについて	
4-1.	メディア掲載記録	36
4-2.	会計報告	37
4-3.	団体概要	38

イーパーツとは 活動目的

「市民活動団体や NPO にとって、それぞれの生活環境や歴史によって、何が必要なのか、何が最適なのかが違ってくるはずです。イーパーツは、決してひとりよがりで善意の押しつけにならないように、その人たちにとってより良い方向へ進んでいくことを応援していこうと考えています。」

「イーパーツ」(eparts) は、2001 年に設立された (2002 年法人格取得)、リユース PC やカラーレーザープリンタ等の情報機器を無償で寄贈する活動や、情報セキュリティに関するシンポジウムの開催などを通して、非営利組織・ボランティア団体・障害者グループの支援を目的とする特定非営利活動法人です。

「eparts」とは、「Evolutional PARTner Support」を意味しています。「eparts」の「Evolution(進化)」には「それぞれの環境の下で最適であるものが必要」と考えます。市民活動団体や NPO にとって、それぞれの生活環境や歴史によって、何が必要なのか、何が最適なのかが違ってくるはずです。

イーパーツのスタッフは様々な職業の人たちから構成されています。私たちはそれら各々の立場から意見を交わすことによって、ある特定の立場に偏ることのない中立な活動を行うとともに、深い洞察をもった学識経験者の意見を取り入れた運営を目指しています。

イーパーツは、決してひとりよがりで善意の押しつけにならないように、その人たちにとってより良い方向へ進んでいくことを応援していこうと考えています。



代表理事 佐々木 良一

1971 年 日立製作所入所。システム開発研究所にてシステム高信頼化技術、セキュリティ技術、ネットワーク管理システムなどの研究開発に従事。同研究所第 4 部（ネットワーク関連）部長、セキュリティシステム研究センター長、主管研究長などを経て、2001 年 4 月より東京電機大学工学部教授。工学博士。

特定非営利活動法人イーパーツ 代表 佐々木 良一

2005 年度、イーパーツの主な活動

イーパーツの主な事業は、「寄贈プログラム」「スペシャルプロジェクト」「レクチャー」の3つです。情報機器の寄贈とそれらを上手に使うためのノウハウ、そして高度情報化時代をどのように戦略的に考えるか、ハードウェアとソフトウェアの双方から市民セクターの情報化を支援しました。

1) 寄贈プログラム

協賛企業から寄付を受けたパソコン・プリンタ・周辺機器等を再生し、必要なソフトウェアとともに、全国の市民活動団体やNPOに寄贈することで市民活動・ボランティア活動の情報化を進めました。

2005 年度の寄贈実績

333 件 1533 台の応募に対して 62 件 137 台のリユース PC を、49 件の応募に対して 20 台のカラーレーザプリンタ、その他多数の周辺機器を寄贈しました。(p.7)

2) スペシャルプロジェクト

イーパーツで蓄積した市民活動団体・NPO のデータベースおよび企業とのネットワークを活用し、情報化社会の抱える問題やニーズに即したテーマを、プロジェクトを形成し専門性をもって実施することで、社会的問題解決にあたりました。プロジェクト内容は、情報コンサルティング・情報化のためのイベント・シンポジウムの企画・実施など、多種多様です。

2006 年度寄贈プログラムの課題

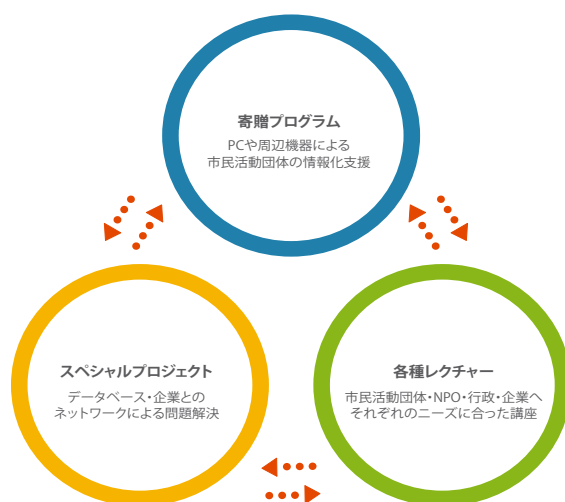
カラーレーザプリンタの寄贈達成率（寄贈件数 / 応募件数）40.8%と比較して、リユース PC 寄贈は 18.6% です。PC 寄贈台数は希望台数の 8.9% に過ぎません。これは、市民活動に役立つ PC の慢性的品不足からきております。PC の確保が早急に解決すべき課題です。

3) レクチャー

情報機器を単に寄贈するだけでは本当の情報化にはつながりません。情報を効果的に安全に利用ができるように、市民活動団体・NPO・行政・企業を対象に、それぞれの現場のニーズに合ったオーダーメイドの各種レクチャーを提案し実施しました。

2005 年度のスペシャルプロジェクト / レクチャー実施数

スペシャルプロジェクト / レクチャーは、市民活動の情報化支援を始め、メディア、市民活動の広報、情報セキュリティ、子供達への情報化支援と多岐に渡り、のべ 2676 人に対して計 72 回実施しました。(p.22,p.34)



イーパーツ 3 事業の関係

イーパーツの活動は、3つの事業がお互いにその経験やノウハウをフィードバックしながら、連携して行われています。

イーパーツとは

スタッフ紹介

イーパーツは、少人数で小回りのきく事務局と大勢のボランティアスタッフによって支えられています。

常務理事・事務局長 会田 和弘

主にプログラム開発と統括を行っています。

どれだけ市民活動団体にパソコンを寄贈するかではなく、市民活動団体の情報化の為、何が必要かをいつも考えたいと思います。

また、高度情報化時代、子供たちをどう支援するかも考えなければならない大きな課題だと思っています。



スタッフ 鈴木 幸江

IT 支援のイーパーツですが、私はまだまだ初心者なので、パソコンで「困った！」のお気持ちがよく分かります。

少しでも皆様のお力になれるよう頑張ります。

寄贈先の皆様の心温まるメッセージや、笑顔に大きなエールをいただきこれからも企業のハートを市民活動団体へお届けさせていただきます。



スタッフ 血澤 さとみ

毎日、多くの人々に会っているいろいろな事を吸収しています。

特に障がい者の方々に話を聞いてみると、普段私たちが普通に過ごしている事でも大変だったりして、勉強になります。

少しでも市民活動団体の方々がパソコンを利用して有意義な活動が出来るよう願っています。



スタッフ 野口 照喜

IT 企業に勤めていますが、学生ボランティア OB です。主に、子供たちとの PC 分解講座などで学生が楽しくトラブルなく活動できるような雰囲気づくりを心がけています。

車大好き、旅行大好き、おいしいモノ大好き、あまり強くないですがお酒も大好きです。



プロジェクトスタッフ・ボランティアスタッフ

【デザイン】松原 慶太【イラスト】きたがわ めぐみ【ビデオ・映像】飛山 拓也、中山 雅夫、山中 資久【Web 作成】矢島 良将【ドキュメント作成】市川 徹

【ボランティア】青木 大、伊藤 健一郎、落合 利香、梶原 こずえ、金田 百合絵、北澤 梓、熊谷 和貴、齋藤 晋、須田 晃介、高橋 正二郎、高橋 良太、太刀川 直樹、長岡 秀樹、廣田 陽一、藤井 習之、宮木 義雄、村瀬 雅樹、森山 和哉、三橋 俊太郎、諸星 陽平、元持 恵、矢島 良将、谷津 浩行、山根 健司

イーパーツの寄贈プログラム

寄贈プログラムについて

「寄贈プログラム」とは、協賛企業から寄付をうけた情報機器を再生し、必要なソフトウェアや周辺機器とともに、全国の市民活動団体・NPO に寄贈することで、市民活動・ボランティア活動の情報化を進める活動です。現在、リユース PC、リユースカラーレーザプリンタ、周辺機器の寄贈を行っています。

1) 適切なものを適切なところへ

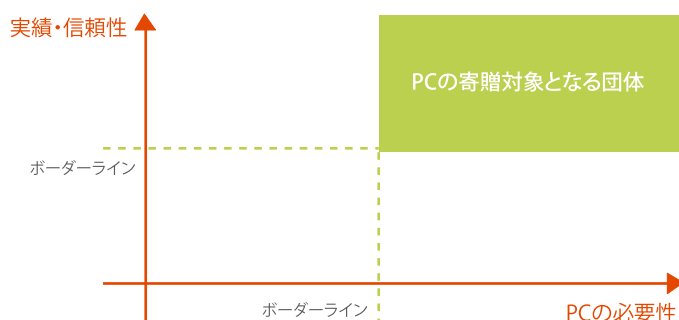
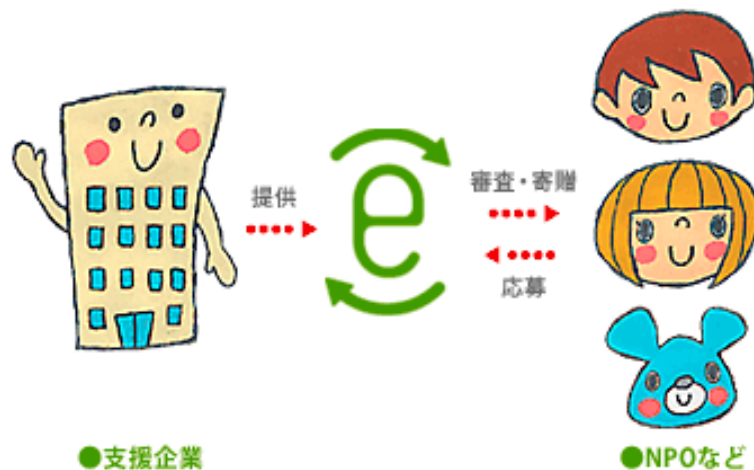
イーパーツでは、情報機器のばらまきはいりません。

情報機器が有効に使われるように、がんばっている団体、そして本当に必要な団体と必要な台数を選考します。1700 団体からなる寄贈実績および報告書データベースを駆使して、市民活動や IT の専門家が中立な立場で、不適切な団体を排除し、まじめにがんばっている団体を選考しています。

2) 団体業務で使えるものを

あまり古い機器では役に立ちません。イーパーツでは市民活動団体の業務に耐えられる情報機器を寄贈するように心がけています。その結果、2005 年度は PC 不足が続きましたが、廃棄物を押し付けることはできません。ある一定の質を保つことは社会への責任と考えます。

また、情報化が進むにつれて必要なものも変わってきます。その変化に合わせて新たな機器の寄贈プログラムを開発しています。



イーパーツ独自の評価システム

情報機器の寄贈対象となる市民活動団体・NPO の審査に当たっては、イーパーツ独自の評価システム (Rating System) を採用するとともに、学識経験者・活動実務者を中心とする豊富な経験に基づいた判定を実施しています。これにより客観的な判定が可能となり、ムダのない効率的・効果的な寄贈が実現しています。

イーパーツの寄贈プログラム

イーパーツでは、公益性をもつ活動をしている団体で、予算などの諸事情から情報化が遅れている団体に対して、以下の寄贈プログラムを実施しております。

1) リユース PC 寄贈プログラム

Windows OS(98SE/Me/2000)・Office 2000・Works7 をインストールし、ウィルス対策ソフトを添付した Celeron 800MHz クラス以上の再生 PC の公募プログラムです。2006 年度は、年 6 回の「全国型公募プログラム」に加えて年 4 回の「地域型公募プログラム」として実施いたしました。

現在、業務に耐えられるスペックの PC を選別して寄贈している事から慢性的 PC 不足が続き、不本意ながら団体の活動実績と PC の必要性から優先順位をつけて寄贈させて頂きました。

2) リユースカラーレーザプリンタ寄贈プログラム

(株) リコー様のご支援で、ショールーム等で展示されていたリコー製カラーレーザプリンタをメンテナンスの上、公益的活動を行う際に大量印刷が必要な市民活動団体へ寄贈する公募プログラムです。

2005 年度は第 3 回、第 4 回公募を実施いたしました。

3) 周辺機器寄贈プログラム

時代と共に情報のあり方も進歩します。より効率的に活動を行うためには新しい機器が必要となります。イーパーツでは、(株) アイ・オー・データ機器様、日本ヒューレット・パッカード (株) 様、(株) リコー様のご協力で、パソコンの周辺機器を寄贈しております。

寄贈は、活動に合わせて必要性があると判断した場合、年 1 回の公募で行っております。公募は 2005 年度は行いませんでした。次回公募は 2006 年 10 月を予定しております。

4) 災害地支援 情報機器寄贈プログラム

自然災害の復旧復興に活躍する市民活動団体の情報化を支援するプログラムです。2004 年度は新潟中越地震・台風 21 号 23 号による水害に対して支援いたしました。2005 年度は実施しておりません。

また、このプログラムの為、全国より情報機器の送料として多くの寄付金を頂きました。その残金 34,725 円は、今後の当プログラムの送料としてプールしております。

寄贈対象団体

ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人、社会福祉法人、財団法人など公益的活動をしている団体。ただし、病院・学校・宗教団体・政府機関を除きます。

リユース PC の支援企業

(株) 大塚商会、住友生命保険相互会社、ダイヤモンドレンタルシステム (株)、(株) 東芝、日本航空 (株)、日本電気 (株)、日本ヒューレット・パッカード (株)、(株) 日本ビジネスリース、(株) プロトン、ホンダエンジニアリング (株)、(株) リコーの各企業様より、リユース PC と再生費のご支援を頂きました。

(2006 年 10 月現在、敬称略)

PC の再生

(株) アルファテクノ様に PC の再生及び発送作業をお願いしております。プロの作業により、動作不良が起らないリユース PC を高寄贈団体へ提供して頂いております。

Microsoft Authorised Refurbisher (MAR)

Microsoft 様の社会貢献プログラムです。このプログラムの実施団体として認定されると、再生 PC に Windows OS をインストールし、独自の判断で寄贈団体を選定し寄贈することができます。

イーパーツは、日本で最初に Microsoft 社より認定された中古 PC 再生団体です。

寄贈団体への配送

リコーロジスティック (株) 様のご厚意により、無償で寄贈情報機器の一部地域への配送して頂いております。

2004 年度災害復旧復興支援実績

2004 年 10 月に発生した新潟中越震災の復旧復興支援として、HP 製ノートパソコン 10 台、FM ラジオ 200 台、リユース PC15 台。2004 年 10 月台風 21 号・23 号被害復興支援として、リユース PC を 18 台寄贈しました。

イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC 寄贈プログラム

パソコンは今や市民活動団体にとって必需品となっています。しかし、団体専用のものをもっていない団体もまだまだ多いのが現状です。イーパーツでは、市民活動の情報化支援として、リユース PC の寄贈を行っています。

Celeron 800MHz クラス以上のパソコンを十分にメンテナンスした上で Windows OS(98SE/Me/2000)・Office 2000・Works7 をインストールし、ウィルス対策ソフトを添付し、市民活動団体などの公益的な活動をしている団体へ寄贈するプログラムです。

これを、全国を対象とした「全国型リユース PC 寄贈プログラム」と地域と顔が見える関係で行う「地域型リユース PC 寄贈プログラム」で並行して実施しています。また、災害時には率先して PC の寄贈を行っています。設立以降、1730 件の応募があり、その内の 467 件に対して、合計 1071 台のパソコンを寄贈いたしました。2005 年度は、333 件の応募を頂いたにも拘わらず、PC 不足から 62 件 137 台の寄贈に止まりました。

1) 全国型リユース PC 寄贈プログラム

全国を対象に、Web 上で、偶数月 (2 月、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月)10 日締め切り、合計年 6 回実施しています。詳しくは、<http://www.eparts-jp.org/act/publicoffer/> をご覧下さい。

実施プログラム	応募件数	寄贈件数	寄贈 PC 数
2001 ～ 2004 年度			
2001 年度公募プログラム (第 1 回～第 6 回)	355 件	56 件	182 台
2002 年度公募プログラム (第 7 回～第 13 回)	303 件	94 件	255 台
2003 年度公募プログラム (第 14 回～第 19 回)	395 件	125 件	224 台
2004 年度公募プログラム (第 20 回～第 25 回)	263 件	75 件	130 台
計	1,316 件	350 件	791 台
2005 年度			
第 26 回公募プログラム (2005 年 6 月)	56 件	11 件	33 台
第 27 回公募プログラム (2005 年 8 月)	52 件	4 件	10 台
第 28 回公募プログラム (2005 年 10 月)	35 件	4 件	12 台
第 29 回公募プログラム (2005 年 12 月)	66 件	7 件	17 台
第 30 回公募プログラム (2006 年 2 月)	42 件	7 件	9 台
第 31 回公募プログラム (2006 年 4 月)	41 件	8 件	19 台
計	292 件	41 件	100 台
累計	1,608 件	391 件	891 台

2) 地域型リユース PC 寄贈プログラム

全国型とは別に、地域の団体と連携し、その地域に密着した公募プログラムです。単に書類だけではなく、お互いに顔が見える関係の中で公募と寄贈先の選考を行います。また、リユース PC の寄贈だけではなく、PC をどのように有効利用したらよいのか、イーパーツは何ができるのかを地域と一緒に考えます。

詳しくは、<http://www.eparts-jp.org/act/local/> をご覧下さい。

Annual Report 2005

イーパーツの寄贈プログラム

実施プログラム

2002～2004年度

世田谷イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2003 年 4 月)	5 件	5 件	72 台
兵庫イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2004 年 8 月)	16 件	5 件	6 台
伊勢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2005 年 5 月)	7 件	3 件	9 台
計		28 件	13 件	87 台

2005 年度

山形イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2005 年 4 月)	5 件	5 件	11 台
甲南大イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2005 年 10 月)	1 件	1 件	1 台
伊勢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2005 年 12 月)	7 件	4 件	8 台
兵庫イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2006 年 2 月)	15 件	8 件	8 台
大分イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	(2006 年 5 月)	13 件	3 件	9 台
計		41 件	21 件	37 台
累計		69 件	34 件	124 台

災害支援プログラム

2004 年度 (兵庫台風 21,23 号、新潟中越震災)	25 件	22 件	43 台
2005 年度は実施していません			
累計	25 件	22 件	43 台

3) 寄贈先データ、活動分野と PC の利用目的

寄贈団体活動分野	2001 年～2003 年	2004 年	2005 年	合計
保健・医療・福祉	125 団体	46 団体	34 団体	205 団体
子育て	47 団体	19 団体	9 団体	75 団体
情報社会	23 団体	5 団体	8 団体	36 団体
環境保全	17 団体	10 団体	2 団体	29 団体
まちづくり	15 団体	11 団体	7 団体	33 団体
学術・文化・芸能・スポーツ	20 団体	5 団体	4 団体	29 団体
国際協力	20 団体	1 団体	3 団体	24 団体
人権擁護	5 団体	3 団体	3 団体	11 団体
NPO 団体運営	4 団体	2 団体	0 団体	6 団体
社会教育	3 団体	2 団体	2 団体	7 団体
消費者保護	1 団体	0 団体	0 団体	1 団体

寄贈 PC 使用目的	2001 年～2003 年	2004 年	2005 年	合計
団体事務	162 団体	44 団体	34 団体	240 団体
広報・情報発信	34 団体	19 団体	34 団体	87 団体
IT 講習	44 団体	9 団体	14 団体	67 団体
バリアフリー	33 団体	10 団体	10 団体	53 団体
コミュニティビジネス	3 団体	1 団体	4 団体	8 団体
災害復興	0 団体	21 団体	0 団体	21 団体
その他	4 団体	0 団体	1 団体	5 団体

イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC で地域と連携

各地域で IT を活用した活動を行っている市民活動団体や NPO そして行政と連携し、リユース PC の寄贈や寄贈後のサポート、各種講習、また団体同士のネットワークングを進めています。

1) 地域型リユース PC 寄贈プログラムの作成

地域の情報化を促進させることを目的に、お互いにできることの知恵を出し合い、リユース PC 寄贈プログラムをローカライズさせます。具体的には、次の点を決定します。

- 寄贈プログラムの実施時期（公募期間、選考期間、寄贈式）
- 寄贈対象と寄贈台数
- 公募方法と広報（申請書、個人情報の取扱い方なども含む）
- 選考のガイドライン（イーパーツのガイドラインに準拠する形）
- 選考委員の選出
- 寄贈式のプログラムと協働イベントの企画
- 寄贈後のサポート

2) 公募

協力団体によって、その地域にあった形で公募とその広報がなされます。平均公募期間は約 1 か月です。

3) 寄贈先の選考

本来ならば応募団体すべてに寄贈しなければならないところ、寄贈先を絞り込まざるを得ません。

その責任として、選考基準とその課程を明確にした方がよいと考えます。そこで、地域・イーパーツ・NPO や市民活動の専門家を交えた選考委員会を組織し、「団体の実績」「PC の有効利用」を軸に優先順位をつけさせて頂きます。

4) リユース PC の準備と発送

イーパーツより協力団体へ、寄贈式の 1 週間前をめどにリユース PC を発送致します。

5) 寄贈式

リユース PC の寄贈式を行います。寄贈を受ける団体は、原則参加して頂きます。

寄贈式の前後には、PC 分解講座、IT2 分間スピーチ、セキュリティサミットなどを実施し、互いの交流を行うと共に、寄贈団体の IT スキルアップを目指します。

6) 寄贈団体へのサポートやネットワークング

協力団体による IT サポート、寄贈団体・協力団体・イーパーツの交流などを通じて、市民活動の発展の為お互いに協力し、より良き社会の実現を目指します。PC 寄贈をきっかけにしたネットワークづくりが、地域型リユース寄贈プログラムの大きな目標の一つです。



※写真とメッセージの掲載には各団体様より承諾を頂いております。

イーパーツの寄贈プログラム

現在イーパーツでは、地域型リユース PC 寄贈プログラムを下記 5 団体と協働して行っております。2005 年度は 4 回公募を行いました。2006 年度は、これらの地域に加えて金沢、宇都宮、松阪でも実施する予定です。

1) 伊勢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

【実施対象】 三重県伊勢地区の市民活動団体

【提携団体】 特定非営利活動法人 いせコンビニネット

<http://www.e-ise.net/>

【実施時期】 2005 年 5 月、2005 年 12 月

寄贈式と同時に、PC 分解講座、リユース PC 活用報告会、IT 2 分間スピーチ大会を開催。



2) 大分イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

【実施対象】 大分県内の障害者施設又は障害者を支援している NPO

【提携団体】 特定非営利活動法人 障害者 UP 大分プロジェクト

<http://www.d-b.ne.jp/upsk-oita/>

【実施時期】 2006 年 5 月

寄贈式と同時に、UP フォーラムにて、パネルディスカッション「IT 活用で障害者の自立支援を！」を開催。



3) 甲南大イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

【実施対象】 神戸市内の障害者施設

【提携団体】 甲南大学経済学部 (神戸市) 佐藤治正ゼミ

【実施時期】 2005 年 10 月

寄贈式と同時に、セキュリティセミナーを佐藤治正ゼミ学生と共催。



4) 兵庫イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

【実施対象】 神戸～阪神間の市民活動団体

【提携団体】 ひょうごんテック <http://hyogontech.net/>

【実施時期】 2004 年 8 月、2006 年 2 月

寄贈式と同時に、個人情報保護ワークショップ、IT 2 分間スピーチ大会を開催。



5) 山形イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

【実施対象】 山形市内の市民活動団体

【提携団体】 WinSUPPORT 山形 <http://win-support.c-mamy.net/>

【実施時期】 2005 年 4 月

寄贈式と同時に、PC 分解講座を開催。



イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC 寄贈プログラム寄贈団体一覧

全国型リユース PC 寄贈プログラム				
団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
第 26 回リユース PC 寄贈プログラム (2005.7)				
(特) 自然生クラブ	茨城県	保健・医療・福祉	団体事務	1
パソコンボランティア「パソ救」	大阪府	情報化社会の発展	IT 講習	3
京都傾聴塾	京都府	保健・医療・福祉	団体事務	1
点訳ボランティア グループ さくら	埼玉県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) 十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの	青森県	子育て	団体事務	1
(特) 岡山市子どもセンター	岡山県	子育て	広報・情報発信	2
(社) 精神障害者地域生活支援センター「三角ベース」	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	6
社会福祉法人そよかぜ「ひので会」	大分県	保健・医療・福祉	コミュニティービジネス	6
障害者とともに生きる作業所「夢屋」	熊本県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	3
福祉施設「つくしの家」	大阪府	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) 日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン	東京都	人権擁護・平和の推進	IT 講習	4
合計 11 団体				33 台
第 27 回リユース PC 寄贈プログラム (2005.9)				
日本ベトナム友好協会川崎支部	神奈川県	国際協力	広報・情報発信	3
ひらかた環境ネットワーク会議	大阪府	まちづくり	団体事務	3
社会福祉法人 希望	岡山県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	3
まほうのらんぶ	愛知県	保健・医療・福祉	団体事務	1
合計 4 団体				10 台
第 28 回リユース PC 寄贈プログラム (2005.11)				
大竹市要約筆記サークルふたば	広島県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) 弘前子どもコミュニティ・ぴーぶる	青森県	保健・医療・福祉	団体事務	3
非営利組織 M プロジェクト	岡山県	まちづくり	団体事務	1
(特) 湘南ふじさわシニアネット	神奈川県	情報化社会の発展	IT 講習	5
合計 4 団体				12 台
第 29 回リユース PC 寄贈プログラム (2006.1)				
茨木市バラの会	大阪府	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) ハートラインまつもと	長野県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) 日向門川子ども遊センター	宮崎県	まちづくり	団体事務	3
(特) いのちのさと	徳島県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	1
ギブ	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	3
日本アーツセンター	東京都	学術・文化・芸能	団体事務	3
横浜音声訳グループ「やまびこ」	神奈川県	保健・医療・福祉	バリアフリー	1
合計 7 団体				17 台
第 30 回リユース PC 寄贈プログラム (2006.3)				
(特) みんなの広場とんとん	大分県	保健・医療・福祉	団体事務	3
北沢いきいきクラブ PC グループ	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	1
清瀬市・声のボランティア	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 新青樹	愛知県	まちづくり	団体事務	1
(特) ちゅうたい会	山形県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 海の環境教育 NPO bridge	東京都	環境の保全	団体事務	1
(特) AnnBee	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	1
合計 7 団体				9 台

Annual Report 2005

イーパーツの寄贈プログラム

第31回リユース PC 寄贈プログラム (2006.5)

(特) 天城こどもネットワーク	静岡県	まちづくり	団体事務	3
「カリタス点字」	兵庫県	保健・医療・福祉	バリアフリー	1
三浦半島パソコンサポートネット	神奈川県	情報化社会の発展	団体事務	4
小川原湖自然楽校	青森県	環境の保全・子育て	団体事務	2
三重小児喘息友の会 てくてくの空	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	3
呉市要約筆記サークル灯だい	広島県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
いろいろなはぐくみの会	青森県	保健・医療・福祉	団体事務	2
(特) 春日部藤スポーツクラブ	埼玉県	学術・文化・芸術	団体事務	1
			合計 8 団体	19 台

地域型リユース PC 寄贈プログラム

団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
第1回山形イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2005.7)				
ぐるーぶ・あらかると	山形県	情報化社会の発展	IT 講習	3
朗読の会 幻耶	山形県	学術・文化・芸術	広報・情報発信	1
山形子ども劇場	山形県	学術・文化・芸術	団体事務	1
(特) ふれあいにこにこの丘	山形県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
Skill UP3	山形県	情報化社会の発展	IT 講習	3
			合計 5 団体	11 台

第1回甲南大イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2005.10)

地域活動グループ チャレンジひがしなだ	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
			合計 1 団体	1 台

第2回伊勢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.12)

夢現会社「バリアフリー」	三重県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	3
キコネット	三重県	情報化社会の発展	IT 講習	3
三重ダルク	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	1
ほっとマザー	三重県	子育て	広報・情報発信	1
			合計 4 団体	8 台

第2回兵庫イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.3)

ウィメンズネット・こうべ	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 福祉ネットワーク 西須磨だんらん	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
アジア女性自立プロジェクト	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) すまみらい	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) ふぉーらいふ	兵庫県	子育て	団体事務	1
翻訳教材作成グループ わくわく会	兵庫県	学術・文化・芸術	翻訳	1
(特) KOBE 子育てネット	兵庫県	子育て	団体事務	1
(特) ほっとぽっと	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
			合計 8 団体	8 台

第1回大分イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.6)

千歳ハイツ・エイブル	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
社会福祉法人希望の森 エバーグリーン	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
社会福祉法人ハーモニー	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
			合計 3 団体	9 台

※括弧内数字は寄贈決定月

イーパーツの寄贈プログラム

笑顔のメッセージ 1

パソコンを寄贈した団体様からすてきなメッセージと写真を頂きました。皆さんの笑顔が、何よりの応援です。一緒にがんばりましょう。

にいがたエジソン学園

パソコン寄贈ありがとうございました。

さっそく子供たちへの活動に活用させていただいております。

ホームページ <http://soiga.com/npo/neg/>



岡山マインド「こころ」

私たちは心の「病」を抱えた仲間たちを中心に活動している、岡山マインド「こころ」という NPO 法人です。隠さずに「生きれる」世界、人のつながりを求めている。いただいたパソコンで様々な人たちと繋がっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

ホームページ <http://soiga.com/npo/neg/>



ゆめ・まち・ねっと

イーパーツさんの取り組みを広くお知らせするために、ホームページとブログでも紹介させていただいています。

ホームページ

<http://www.h6.dion.ne.jp/~playpark/eparts/>

ブログ

<http://yumemachin.exblog.jp/>



アシスト

昨年 10 月の台風 23 号にて、パソコンが浸水してしまい困っておりました。

思いがけないパソコンの寄贈、大変うれしく感謝しております。

事務局にて大切に使用させていただきます、ありがとうございました。



デイホーム健々

一年中で一番美しい 5 月、山や野が呼んでいるような気がいたします。

パソコンは、利用者のクオリティオブライフに役立てたいと思います。



※写真とメッセージの掲載には各団体様より承諾を頂いております。

イーパーツの寄贈プログラム

小規模通所授産施設 ひので

Word を用いた、年賀状の作成、印刷を行ないました。

印刷後はお互いの作品を見て、ご自身の作品に一喜一憂しておりました。皆さん初めてパソコンで年賀状を作成されたそうで、大いに感動されておりました。

ホームページ <http://www.d-b.ne.jp/hinode/>



パソコンサークル桔梗

ローマ字を覚えることから始め、今の楽しみはお孫さんとのメール交換というおじいちゃま。新潟で地震被災後、豪雪に遭われ働きに来ている出稼ぎママさんなど色々な方がいらっしゃいます。

PC が無い人も講座に参加でき、仲間がまた増えることでしょう。とても嬉しいことです。



虹のおと

昨年 10 月の中越地震において震度 7 を記録した川口町で遊びと学びの寺子屋、「虹のひろば」を毎月 1 回実施しています。

子どもたちの笑顔が活動の支えです！

パソコンは文書やホームページ作成用に使用します！ありがとうございます！

ホームページ <http://www.makinet.jp/niji/>



ほっとぽっと

毎日お仕事で使わせていただいて、とても活躍しています。

使っている様子の写真です。

本当にありがとうございました。



福祉ネットワーク 西須磨だんらん

早速いただいたパソコンにホームページビルダーを入れまして、今いろいろ触っているところです。

これからも活用させていただきます。

本当にありがとうございました。

ホームページ <http://danran.at.infoseek.co.jp/>



イーパーツの寄贈プログラム

リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

支援企業(株)リコー様のご協力により、市民活動団体やNPOへカラーレーザープリンタを無償で寄贈するプログラムです。レーザープリンタはコストパフォーマンスがよく、きれいな出力結果を得られます。チラシやパンフなど、大量に印刷が必要な団体、印刷物製作で自立を目指す障害者施設等に寄贈しております。

1) 公募について

2004年より、年2回の割合で公募しております。2005年度は、2005年7月と2006年1月に公募を行いました。申請書とともに、収支報告書、現在印刷しているチラシやパンフレットなどを添付して応募頂いております。

2) 寄贈プリンタ

(株)リコー製オフィス用本格的カラーレーザープリンタ IPSiO Color 7100、IPSiO Color 7200、IPSiO Color 8200、IPSiO Color 9000 です。給紙や両面印刷ができるユニットも標準装備です。ネットワーク上で共有すると威力を発揮します。

第5回公募では小型の IPSiO CX3000 を寄贈いたします。

3) 寄贈条件

日本国内に主な事務所のある非営利団体であること、申請団体の非営利活動のみで使用する(寄贈・譲渡・転売は不可)、カラーレーザープリンタを非営利活動にて有効に使用する予定があること、半年後に活用報告書を提出すること、ランニングコストおよびメンテナンス費用、寄贈にかかる送料を負担できること。

送料は、各回、配送料総額を寄贈団体で均等割したものとさせていただいております。遠隔地や離島の団体にもなるべく同じ条件で配送される為です。

4) 選考基準

台数に限りがあることから、どのような活動実績があるか、カラーレーザープリンタが有効利用されるか、維持費に無理がないかの3点から優先順位を付けさせて頂き、寄贈を決定いたしました。

IPSiO Color 9000 の場合、年間保守料金として約6万円ほどかかります。保守契約をされなかった為、多大な費用が発生したり、十分に利用されない場合が予想されます。そこで、大変有意義な活動をされていても、年間予算から保守費用が捻出できないと判断した場合、寄贈は見送らせて頂きました。



イーパーツの寄贈プログラム

カラーレーザプリンタ寄贈プログラム実施概要 (第1回～4回)

	応募件数	寄贈件数	寄贈台数
第1回(2004年5月)	26	5	5
第2回(2004年7月)	21	20	20
第3回(2005年8月)	13	10	10
第4回(2006年3月)	36	10	10
合計	96件	45件	45台

第3回カラーレーザプリンタ寄贈プログラム(2005年7月公募)

団体名	所在地	主な活動分野	寄贈台数	機種名
(特) 自立支援センターむく	東京都	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) アニミ	神奈川県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 世田谷NPO法人協議会	東京都	NPO 団体運営	1	RICOH IPSiO CX9000
(社) 知的障害者授産施設 ハートピア谷汲の杜	岐阜県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 夢空間松代のまちと心を育てる会	長野県	まちづくり	1	RICOH IPSiO CX9000
パソコンサークル・健康ヶ丘	京都府	情報化社会	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 身体障害者通所授産施設 新生会作業所	兵庫県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
和泉市こども会リーダークラブ	大阪府	社会教育	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) ぶうしすてむ	愛媛県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
農協共済別府リハビリテーションセンターみのり	大分県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
合計 10 団体			10 台	

第4回カラーレーザプリンタ寄贈プログラム(2006年1月公募)

団体名	所在地	主な活動分野	寄贈台数	機種名
千葉県聴覚障害者連盟	千葉県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) シンフォニー	兵庫県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 海から海へ	東京都	環境保全	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) サンクチュアリエヌピーオー	栃木県	情報化社会	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) IT アットうつのみや	長野県	まちづくり	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) ビィアルビィぎょうと	京都府	学術・文化・芸術・スポーツ	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 伊勢志摩バリアフリーツアースセンター	三重県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(社) 精神障害者小規模通所授産施設 希望の郷	大分県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 国境なき子どもたち	東京都	国際協力	1	RICOH IPSiO CX9000
(特) 茨城 NPO センター・コモンズ	茨城県	NPO 団体運営	1	RICOH IPSiO CX9000
合計 10 団体			10 台	

イーパーツの寄贈プログラム

笑顔のメッセージ 2

プリンタを寄贈した団体様からすてきなメッセージと写真を頂きました。皆さんの笑顔が、何よりの応援です。一緒にがんばりましょう。

自立支援センターむく

カラーレーザープリンタは大変役立っています。

特に 12 月に寄贈でいただいたカラーレーザープリンタを使用して、カレンダーを作成させていただきました。

ホームページ <http://www9.plala.or.jp/jmuku/>



アニミ

レーザープリンタが届いてから、とにかく作業効率が良くなりました。予定通り、ニュースレターやチラシなどに活用させて頂いております。

早い！きれい！なので、チラシにはもってこいです！と広報担当者が申ししております。

また、細かく量の多い経理の書類もスムーズで気持ちがいいです。

ホームページ <http://www.animi.jp/>



世田谷 NPO 法人協議会

レーザープリンタが届いてから、世界が変わりました！

寄贈していただくまでは、「大量印刷＝ひたすら刷り上がりを待つ、または、他の場所に行って印刷させてもらう」という状況でした。効率よく作業できるので、心も癒されます。これからは活動や、情報発信等のためにも、どんどん活用したいと思っています。有難うございました。

ホームページ <http://www.ryoma21.jp/kyougikai/index.html>



身体障害者通所授産施設 新生会作業所

インクジェットのプロッタで校正を出していましたが、出力が遅く大渋滞でした。このたび寄贈いただいたプリンタは、サクサク出力されます。

発色もとても良い状態です。

おかげさまでスタッフの制作意欲も製作効率も大幅に UP !

どうもありがとうございました。

ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/%7Esskssk/>



農協共済別府リハビリテーションセンターみのり

このたびは大変すばらしいプリンタを頂き心よりお礼申し上げます。

この週は前半、私が出張しておりましたので、12 日に IP アドレスを振り動作の確認をいたしました。また幸いなことにリコーの営業マンが私の友人でしたので、彼に立ち会ってもらい確認をいたしました。

ホームページ <http://www.brc.or.jp/>



※写真とメッセージの掲載には各団体様より承諾を頂いております。

イーパーツの寄贈プログラム

ピアールピキょうと

さっそく会報「ワクワクNEWS」をカラーで発行しました。また、ギャラリー&カフェの今月の展示のDMハガキの印刷にも利用させていただき、従来のインクジェット式プリンタとの差に感激しています。これからも私どもの事業の様々な部分で有効に活用させていただきます。
ホームページ <http://www.prpkyoto.jp/>



伊勢志摩バリアフリースターセンター

寄贈して頂いて有り難うございました。
印刷の速度が早くて驚きました。
これから充分活躍してもらいます。
ホームページ <http://www.barifuri.com/>



精神障害者小規模通所授産施設 希望の郷

この度はカラーレーザプリンタを寄贈していただきありがとうございました。
早速プリンタで施設のTシャツを作りました。施設一同大変嬉しく思っています。
本当にありがとうございました



国境なき子どもたち

配送いただきました翌日からさっそく使用を開始し、パキスタン地震で被災した子どもたちの写真展で展示する団体紹介データの出力を中心にすでにフル稼働しております。
仕上がりの美しさ、印刷スピードの速さにスタッフ一同驚き改めてこのように立派なプリンタを寄贈いただけたことに深く感謝しております。
ホームページ <http://www.knk.or.jp/>



茨城 NPO センター・コモンズ

カラーレーザプリンタのを寄贈していただきまして誠にありがとうございます。
早い、きれいにスタッフも大感激！
早速、コモンズの宣伝用チラシを作成し NPO 法人や会員の皆さんに配布しました。今後も大いに活用させていただきたいと思っております。ありがとうございます。
ホームページ <http://www.npocommons.org/>



イーパーツの寄贈プログラム

周辺機器寄贈プログラム

時代と共に情報のあり方は進化し、より効率的に活動を行う為には新しい機器が必要となります。イーパーツでは、アイ・オー・データ機器様、日本ヒューレット・パッカード様、リコー様などのご協力で、パソコンの周辺機器を寄贈しています。

1) リユース PC 寄贈プログラム周辺機器

2001 年より、リユース PC 寄贈プログラムを実施する際、CD が付属していない又は LAN や Modem が実装されていない場合、アイ・オー・データ機器様のご支援でリユース PC に付属して寄贈致しました。

ネットワーク機器

アイ・オー・データ機器様	内蔵モデムカード	IFML-PCI2	40 枚
アイ・オー・データ機器様	ノート用 LAN カード	PCLA/TE	146 枚
アイ・オー・データ機器様	ノート用 LAN モデム	PCML-560EL	203 枚

外部記憶装置

アイ・オー・データ機器様	USB 接続 FD ドライブ	USB-FDX1	20 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続 DVD-R/RW	DVR-UE16F	10 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続 CD-RW	CDRW-IU48S	10 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続 CD-RW	CDRW-IV40	5 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続 DVD-ROM	DVDP-I8/VS2	5 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続外付け HDD	HDH-SU250	1 台

2) 周辺機器寄贈プログラム

NPO 活動の Photo コンテストや公募などによる寄贈プログラムです。

2004 年度は、NPO 活動フォトコンテストを実施しました。2005 年度は IT 弁論大会にて USB メモリを寄贈しました。2006 年度は 10 月に公募予定です。

2004 年度 NPO 活動 Photo コンテスト <http://www.eparts-jp.org/project/contest/i>

アイ・オー・データ機器様	無線 LAN ルータ & カード	WN-APG/R-S	1 台
アイ・オー・データ機器様	200 万画素小型軽量ムービーカメラ	MotionPix	1 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続ポータブル HDD60G	HDPX-U60	1 台
アイ・オー・データ機器様	USB 接続 DVD-R/RW/RAM	DVR-UEH60	1 台
アイ・オー・データ機器様	USB フラッシュメモリ	EDM-128M	6 本

2005 年度 IT 弁論大会 伊勢、神戸

アイ・オー・データ機器様	USB 接続ビデオチャット用カメラ CAM30V	パソコンサークル桔梗他	12 台
アイ・オー・データ機器様	USB フラッシュメモリ EDM-128M	三重ダルク他	24 本
アイ・オー・データ機器様	USB 接続ポータブル HDD60G HDPX-U60	森林療法研究会三重	1 台

2006 年度予定

アイ・オー・データ機器様	LAN 接続 HDD, 無線 LAN ルータ, USB 接続 HDD	2006 年 10 月公募	7 台
リコー様	液晶プロジェクタ	現在寄贈プログラム準備中	2 台

イーパーツの寄贈プログラム

3) ソフトウェア

リユース PC を有効に活用する為、または障害者の自立支援 PC 講習へ以下のソフトウェアを寄贈頂きました。

アドビ様	PhoShop Element 2.0	eparts 講座用	10 本
アドビ様	illustrator 10	eparts 講座用	10 本
アドビ様	Creative Suites SC1	eparts 講座用	1 本
アドビ様	Creative Suites SC2	eparts 講座用事務局用	2 本
シマンテック様	AntiVirus2003	リユース PC 寄贈プログラム用	400 本
トレンドマイクロ様	VirusBuster2006	リユース PC 寄贈プログラム用	300 本
マイクロソフト様	Windows98SE/Me/2000,Works7/office2000	リユース PC 寄贈プログラム用	台数分

4) プリンタ寄贈

日本ヒューレット・パッカード様、リコー様のご支援で、リユースカラーレーザプリンタを公募で、カラーレーザプリンタとインクジェットプリンタを市民活動団体へ寄贈いたしました。

一部、発送が遅れているものもあります。

カラーレーザプリンタ

日本ヒューレットパッカード様	Laser Jet3500	アジア女性センター	1 台
リコー様	IPSiO Color 7100	カラーレーザ寄贈プログラム用	5 台
リコー様	IPSiO Color 7200	カラーレーザ寄贈プログラム用	6 台
リコー様	IPSiO Color 8200	カラーレーザ寄贈プログラム用	14 台
リコー様	IPSiO Color 9000	カラーレーザ寄贈プログラム用	20 台
計			46 台

インクジェットプリンタ

日本ヒューレットパッカード様	deskjet 5740	翻訳教材作成グループわくわく会	1 台
日本ヒューレットパッカード様	deskjet 5740	風の子会かつしか風の子クラブ	1 台
日本ヒューレットパッカード様	psc 1310 (複合機)	心の巣箱	1 台
計			3 台

5) その他

パソコン付属品や市民活動団体の運営消耗品など以下のものを寄贈プログラムに合わせ、またシンポジウム・パネルディスカッション・講座等で寄贈させて頂きました。

大塚商会様	事務用品	メモ用紙、ボールペンなど	多数
トレンドマイクロ様	インターネット安全対策キット	CD-ROM、冊子	1000
日本航空様	PC 用ヘッドフォン	MDR-5080	360 本
マイクロソフト様	ノベルティグッズ	ボールペン等	多数
マイクロソフト様	安全対策グッズ	冊子	1000

レクチャー・スペシャルプロジェクト

レクチャー・スペシャルプロジェクト

情報化社会の抱える問題やニーズに即したテーマを、市民活動団体のデータベース、情報に関するノウハウ、企業や専門家とのネットワークを活用し、問題解決にあたります。

1) レクチャー・スペシャルプロジェクトの目的

イーパーツでは、ただ単に情報機器を寄贈するだけでは、本当の情報化につながらないと考えています。市民活動団体や NPO にとって、高度情報化社会において、どのように情報を利用しどのようにリスクを管理するのか、また今後情報化社会はどこへ向かうとしているのか、そこで生じる問題は何か、解決の仕方はなどを考えていかなければなりません。イーパーツは、これらの課題に対して専門性とネットワークでソリューションを提示したいと思っています。

2) レクチャーとスペシャルプロジェクト

具体的な解決手段は、講演や講座を中心とする「レクチャー」、独自の視点からシンポジウムや議論の場をプロデュースすること、情報利用に関わるコンサルティング等の「スペシャルプロジェクト」に分けられます。

3) 他と協働すること

イーパーツ単体では、講演・講座・シンポジウム等を実施いたしません。独自で行うことよりも、文化も領域も違った団体と協働するように努めています。異なる団体と一緒に開催することで、トラブルや問題点も起こります。しかし、それ以上に1団体ではとうてい達せない成果を上げることができると信じています。また、いろいろな団体と共同作業を行うことで、新たな出会い、今まで知り得なかったことやノウハウなどに触れる事ができ、イーパーツをより発展させることでしょう。

4) テーマと実施回数

多々あるテーマの中から、イーパーツでは、次の6つに絞りレクチャー・スペシャルプロジェクトを実施しています。以下、実施回数、のべ受講者数は2003年7月1日から2006年6月30日までの合計です。

テーマ	内容	実施総回数	のべ受講者
情報を考えるシリーズ	著作権、メディア等とどのように関わるか	4回	400名
情報セキュリティ	セキュリティ対策、個人情報など	40回	1050名
市民、市民活動団体への情報化支援	アプリケーション講座、広報・メディア関連	46回	973名
防災、災害復興支援	新潟中越復興支援、災害と市民メディア	3回	280名
障害者支援	PC体験、自立の為にPC講師養成	4回	233名
子供たちへの情報教育支援	PC分解講座、レゴロボット講座など	20回	420名
学校への情報教育支援	学校のWeb戦略、教師の為にセキュリティ	20回	525名
累計		137回	3881名

情報を考えるシリーズ3・講演「宣伝費ゼロの広報術」 ～市民活動にとっての有効な広報戦略と手段とは～

市民活動にとって広報が重要であることが分かっていても、実際にはなかなかうまくいきません。市民活動がどのように広報し、メディアとどのように付き合うか等を第一線の広報マンから学びました。

日時:2005年9月3日(土) 19:00～20:30

会場:キャロットタワー 世田谷文化生活情報センター 5F

主催:特定非営利活動法人 イーパーツ

共催:(財)せたがや文化財団 生活工房

後援:世田谷区

受講者:70名

講師:高橋 真人氏 ((株) プラップジャパン プロデューサー)

メディア掲載:日本経済新聞 2005年9月8日夕刊:生活コミュニティー



○メディアに取り上げられることは、ある種の通信簿

「今、ブログやWebなどがあり、マスメディアを通さずに広く社会に知らしめる方法がありますが、マスメディアとの違いは自分以外の第三者が価値を判断しているということです。マスメディアは公共的なものですから、そこに掲載されたということは『公益的である』『社会的に重要なことである』と通信簿をもらったのと同じことなのです。」



○戦略的PRには、メッセージの絞り込みが必須

「どうやれば自分達の活動を新聞に取り上げてもらえるのでしょうか、という質問をよく受けます。『どうしてPRをしたいのか』、これは皆さんすぐに答えが出るでしょう。では、その対象となる人に何を伝えたいかとなるとなかなか明確になっていないようです。何を目的にしており、どんな活動をしていて、何を認めてもらいたいのか。社会的存在である市民団体にとって、このメッセージこそが存在意義なのです。」

メッセージが決まったら、どうやって広報するかということになります。一つはインターネットを使うことでしょう。更に必要なことは、新聞・雑誌・テレビに取り上げられるようにすること、つまりパブリシティです。その為には、メッセージを明確にすることが重要なのです。共感を生むのは、明確なメッセージにあるのです。すべての人が共感してくれることは難しいです。だからこそ、分かってくれそうな人に周知してもらう為にも、明確なメッセージが要求されるのです。」

○メディアの上手な利用法

「紙は、インターネット・ブログに取って代わられてきています。しかし、マスメディア(新聞)のパブリシティにはかなわない。それは、マスメディアが取り上げるのが公共性の高いものだからです。では、どうやってマスメディアに取り上げてもらうかです。」

「まず、新聞社の支局に連絡をとります。そして何をしたいかメッセージを伝えることです。まずはタウン誌、新聞の都民版、全国紙と徐々に大きくしていけばよいでしょう。ネタづくりも重要です。より大きく取り上げてほしかったら、今ニュースになっている社会現象を積極的に自分達の活動に関わらせるという手もあります。例えば、地震があったらすぐにチャリティコンサートを行うなどです。これには時間が重要になります。一番最初しか記事にならないからです。」

「では、どうすればメディアに取り上げられるのでしょうか? 企業をまねて、NPOもプレスリリースを出さなければならない、とよくいわれます。しかし、市民団体の場合は記者に電話をするなどFace to Faceの方が記事として取り上げられることが多いでしょう。NPOらしさが重要です。」

「活動を新聞なり雑誌なりとにかく活字にすることが重要です。活字になるとテレビが取り上げる率が高くなります。それは、放送局のディレクターが新聞雑誌をよく読んでネタをさがしているからです。その意味では、がんばって本を出すのもよいでしょう。ぐっと団体の信頼性があがります。広報の仕方は一つということではありません。いろいろな手段を使って活動をアピールしていくべきです。」

(講演より抜粋)

レクチャー・スペシャルプロジェクト

情報を考えるシリーズ4 シンポジウム「市民にとってメディアとは」 ～住民ディレクターとキャンドルナイト～

市民活動の立場でメディアを十分に活用し成果をあげている岸本氏・マエキタ氏に体験談を語って頂き、市民活動団体がどのように活用していけばよいのか、また受け手でもある市民はメディアとどのように付き合っていけばよいのかを考えました。

日時：2005年9月25日（日）13：00～17：00

会場：キャロットタワー 世田谷文化生活情報センター 5F

主催：特定非営利活動法人 イーパーツ

共催：（財）世田谷文化生活情報センター生活工房
横浜市民メディア連絡会

協賛：（株）大塚商会

後援：世田谷区

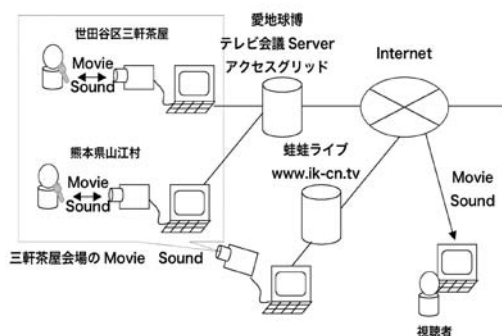
講師：マエキタミヤコ（NPO 広告メディアクリエイティブ「サステナ」代表）、岸本 晃（有限会社「プリズム」代表）、松本 佳久（山江村住民ディレクター インターネット中継での特別出演）

ファシリテーター：会田 和弘（イーパーツ）

メディア掲載：東京新聞 2005年9月25日「市民にとってのメディアとは」

撮影協力：世田谷テレビ、横浜市民メディア連絡会、蛙蛙ライブ

動画配信：世田谷区三軒茶屋、熊本県山江村をビデオカメラでつなぎ、愛地球博のテレビ会議システム「アクセスグリッド」にて全国に配信すると同時に、掲示板を設置し視聴者からの質問を受け付けました。



昨今、市民活動団体が自らの活動を映像化しインターネットを通じて発信することが増加しています。その背景には、インターネットの高速化とコンピュータの高機能化、映像編集ツールの普及があげられます。しかし、その映像が届くべきところに届き、活動が評価され、より活動が活性化されるノウハウを、市民活動が持ち得ているかは疑問です。通信インフラができ、ツールが安価で入手可能になった今、インターネットというメディアをどのように利用し活用していくのか、マスメディアとどう使い分けていくのかを考える時期になっているといえます。

本シンポジウムでは、マエキタミヤコ氏に広報の専門家の立場から、NPOにとってマスメディアとは、人を共感させるにはどうしたらよいか等について、岸本氏からは住民ディレクターの立場から、逆に個人が情報を発信することにどのような意味があるのかを講演頂きました。そして最後に、現在も市民活動の立場でメディアを十二分に活用し成果をあげている岸本氏・マエキタ氏に体験談を語って頂き、市民活動団体がどのように活用していけばよいのか、また受け手でもある市民はメディアとどう付き合っていけばよいのかを考えました。

○第一部：基調講演1 マエキタミヤコ「市民活動とメディア」(13:10～14:10)

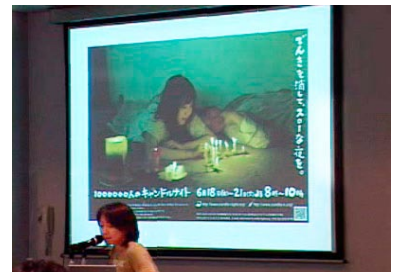
「市民活動によるメディアの活用例として、私がいま関わっているホワイトバンドを取り上げて説明しますが、意思を集めて政策を変えることというのは、例えば募金活動に賛成した人が直接お金を寄付することよりも必要なことだったりします。それは貧困という大きな問題を変えていくには、直接問題に対して何かをするよりも、政策を変える働きかけをすることや大きなインパクトを与えることのほうが重要なのです。」

「メディアを上手に使うということですが、本当は対マスコミになにをするということではなく、基本的な『知らせること』『意見交換すること』『情報交換すること』『合意をつくること』『提案すること』をすることが大切だったりします。」

「昔から使われている方法ですが、マスコミを利用する方法としては、番組に投稿をしたり、地域の折込ちらしを活用したりできます。他にも自分で撮影したビデオを編集して売り込んだりすることもできます。」

「いくつかのメディア、媒体をミックスさせることもポイントです。キャンドルナイトの広報をする時は、面白い仕掛けになっているように見せました。コツは複数組み合わせるってことです。例えばインターネットで渋谷の駅前に何月何日の10時に集合してくださいとかになれば実際に人が集まって、その集まった人たちで写真をとってインターネットに掲載するだけでリアリティっていうものが生まれてきます。」

(講演より抜粋)



○第二部：基調講演2 岸本晃「市民によるメディア活用」(14:25～15:25)

「山江村のテレビでは『見るもんじゃなくて出るもんばい』といってるんですが、それが『テレビは見るもんだけど使うもんばい』という風になんて変わって、最近、『使うもんなんだけど作るもんばい』になりました。私も、作るもんばいだと思います。山江村の住民ディレクターは、デジタルカメラで撮ってきたものを自分で編集して、それを自分で見ながらリポートするという簡単な手法でテレビの番組を作るのですが、このプロセスにこそ迫力を養うんだということがわかりました。」

「実際には企画をして取材をしてカメラで撮って編集をしてリポートするのですが、実は映像を世の中に出すためにはお金が必要だと分かり、最終的には経理が必要で、その全部のプロセスが住民の人たちが関わったことで結果的にコミュニティができました。」

「インターネットも同様ですが、人の出会いを作り、出会った人同士がまた再会できる状態が必要です。それがあって、山江村の人たちは相手のところに出かけ、興味のあることをさらに吸収していくというダイナミズムがおこり、村の人たちの振興に繋がっていると考えます。」

(講演より抜粋)



○第三部：パネルディスカッション「市民生活にとってのメディアとは」(15:40～16:50)

市民メディアのパイオニアである、マエキタ氏と岸本氏、そして山江村からインターネット中継で住民ディレクター松本氏を交えてのディスカッションを行いました。メディアをどういう風に使っていくのか、市民がどういう風にうまく利用していくのか、そのためにはどうしたらいいかということを議論していきました。

マスメディアと市民メディアを対立的にとらえるのではなく、マスメディアも含めた市民メディアをつくっていく必要性を述べたほか、会場からメディアとは何か、マスメディアとインターネットの違いとは何か、そして市民生活、市民活動にとってメディアをどう利用していくのかなどの質問に答えました。ディスカッションの最後にはこれからの市民メディアはどうなっていくのかを話し合いました。そこでは一番大事なことは、自分たち市民が地域づくりに役立つ情報を流していくことが大切だと語られました。

(パネリスト/岸本晃 マエキタミヤコ 松本佳久 ファシリテーター/会田和弘)



学生セキュリティサミット 06 「ネットしてますか？」

インターネットが当たり前の僕たちだけど、どう使えばよいのか、何に気を付けたらよいのかそして、子供たちやシニアにそれをどう伝えたらよいのかを改めて考えてみた。

日時: 2005 年 7 月 9 日 (土) 17:00 ~ 20:30

会場: キャロットタワー 世田谷文化生活情報センター 3F

主催: 関東学生セキュリティ研究会

参加: 慶応義塾大学、信州大学、大東文化大学、東京電子専門学校、東京電機大学から 20 名

共催: 特定非営利活動法人 イーパーツ

講師: 会田 和弘 (イーパーツ)

進行: 高橋 正二郎

記録: 谷津 浩行

アドバイザー: 血澤 さとみ、野口 照喜 (イーパーツ)

実施内容: インターネットの「何が問題なのか」と考える為、関東の大学生・専門学校生 20 名が、基調講演を受けて 4 つのテーマに別れグループディスカッションを行いました。そして、自分たちはどう思うのかどうしたらよいのか等意見をまとめ発表しました。

17:00 ~ 17:45 基調講演「インターネットは危険がいっぱい」

会田 和弘 (イーパーツ)

18:00 ~ 20:00 ワークショップ

「子供のインターネットの使い方をどう伝えるか」

「ネットコミュニティの上手な使い方」

「セキュリティをどう教えるか？」

「『著作権を守ろう』キャンペーン案をつくる」

20:00 ~ 20:30 各グループによる発表



基調講演

「インターネットは便利で様々な可能性を含んでいる。しかし、同時に目には見えないリスクも潜在している。まず、クレジットカード番号やパスワードのように情報の機密性はどう守るのか、飛行機や電車の運行スケジュールの完全性をどう確保するのか、サーバが Dos 攻撃で利用停止状態にならないようにするなどが必要である。これらは、企業だけの課題ではなく、パスワードをわかりにくい文字列にしたり定期的に更新するなど、私たちでも配慮しなければならないことである。」

「このような技術的なものだけではない。2ch のようなコミュニティサイトでもトラブルが起こっている。そのようなサイトを忌み嫌うだけでは何の進展もない。プロバイダ責任制限法など法的にも整備されつつある。それらとどのように付き合っていくかが重要である。インターネットは非常に大きなデジタル空間である。ここでデジタルであるということに注意しなければならない。情報は無限にコピーされ全世界へ配布され得るのだ。だからこそ、著作権に配慮しなければならない。」

ワークショップ

○第一グループ：子供のインターネットの使い方をどう伝えるか

子供に対してインターネットの使い方を教えるにはどうしたらいいのか。そのためには、伝える場、教える内容、教える方法、実践の4つのカテゴリーに分けて議論が行われました。

伝える場としては、家庭や小学校の授業、地域で伝えられると考え、親や地域のボランティア隊が教えていくことが必要なのではないかと考えました。教える内容としては、ネチケットとセキュリティに注目し、自分で責任が負える範囲で行うことや、詐欺等の対処法をレクチャーするなど、具体的な内容を話していきました。インターネットが便利であることと同時に、危険についても同時に教えていく必要を考えました。教えていく方法としては、例えば友達、クラス同士で発表会をするなど、楽しく学べるようにして子供が興味を持てるようにしなければいけないと話しました。最後に実践として、フィルタリング等で悪いことができないようにして、悪いことをした時に親が教えることや、ちょっといたづらしてみる、させてみることで、経験をつませることも必要だと考えました。

○第二グループ：ネットコミュニティの上手な使い方

インターネットの特性を活かしたネットコミュニティの使い方として、匿名性、信頼・信頼性、対処法、コミュニケーションツール、ネチケットの5つのキーワードにしぼって議論をしました。特にグループ内の関心があった内容は、匿名性とネチケットに関してで、匿名性に関しては匿名性だからできること、できないことをしっかり理解して、情報を出したり、聞いたりしていくことが重要であることを考えました。それからネチケットに関しては、書き込みやメールを書く際には、相手の気持ちを考えるで行うことや、インターネット上のルールを知って、さらに知るだけではなくそれを守ることが重要だと考えました。

○第三グループ：セキュリティをどう教えるか

まずは実践していくことの必要性があると考えました。その中でも、身近にいるパソコンが出来る人に教えてもらうことが重要だという話になりました。特にセキュリティソフトなどシニアには扱うことが難しいものを教えていくことが大切だと考えました。またインターネットをすることで危険なことに巻き込まれることがあるということを教える必要があり、原則自己責任で対処していかなければいけないことも伝えなければならぬと話しました。そのため、セキュリティソフトなどを使って自ら制限をかけることや、お金や身分に関するサイトを閲覧することを控えるようにするが必要だと伝える必要があると考えました。

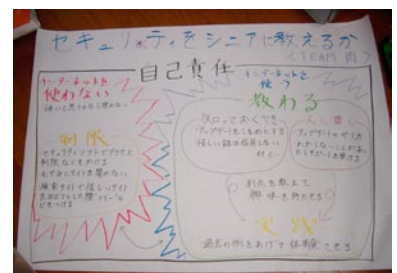
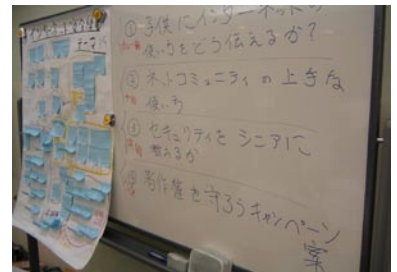
しかしインターネットが怖いと思うのなら、強制することなくインターネット自体を使わないという選択を選んでもいいという話もしました。

○第四グループ：『著作権を守ろう』キャンペーン案をつくる

著作権のことを知らない人たちが多くいる中で、著作権そのものの理解と問題点、良いこと悪いことを小さいことから教育していく必要があると思い、やってはいけないこと、それがどうしてやってはいけないことなのかを教える必要があると考えました。

普段の生活の中で、CD・MDを他人に貸すことや携帯電話の着うたをコピー・配布してはいけないことなど、どこまで許される範囲なのかを考えてもらう必要があると思います。この中で、「ディズニーなどのキャラクターが著作権に守られているのかを教えるにはどうするのか」や、「著作権があるものなのか、ないものなのかを判断しづらいものがある困る」など、難しい問題も議論しました。

著作権を守らせるキャンペーンの内容については、学校で著作権の授業を行うことや、専門用語、例えば公衆送信権などを分かりやすい例えを使い表現したり、芸能人がネタ・セリフなどにも著作権があるんだと言うCMを放送するなど、様々なキャンペーンを考えました。



地域密着型セキュリティ保護体制づくり

ウィルス・スパイウェア対策などを顔が見える関係で教え合う地域づくりを目指します。“Face to Face のつながり” & “専門家による lecture” の複合モデルを、セキュリティ講師養成を中心とした人材づくり・コンテンツづくりを行っています。

日時: 2005 年 9 月 1 日 ~ 現在継続中

地域: 大分県大分市近郊

主催: (財) ハイパーネットワーク社会研究所、特定非営利活動法人 イーパーツ

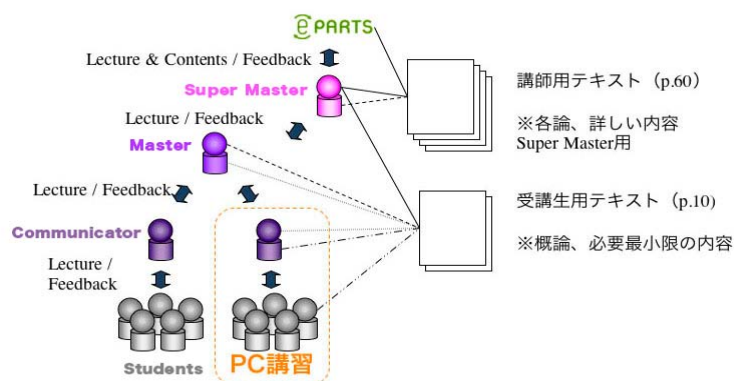
協力: シニアネット大分、大分県情報政策課 他

メディア掲載: 大分合同新聞「ネット社会大分からの提言」(2006.1.1)



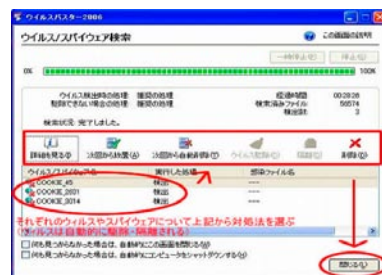
インターネットセキュリティに関する情報は数多くあります。しかし、それでもウィルスやスパイウェアの被害、フィッシング詐欺、個人情報の流出は止まりません。インターネット上のリスクを実感できず適切な対処ができない人達が深刻な被害にあっている現実があります。まさに「セキュリティデバイス」が進んでいると言えます。

顔が見える関係での情報はリアリティを持ちます。また、日頃から接している IT 講師からのアドバイスには信頼性があります。しかし、日々変化するセキュリティ情報を適切に教える講師が少ないのも確かです。このプロジェクトは、日頃パソコンを教えている講師にセキュリティについて教える先生を養成すると共に、必要なセキュリティ情報を、適切な形で継続的にそのセキュリティ講師へと提供し続けるというものです。



イーパーツは、(財) ハイパーネットワーク社会研究所と共に、このモデルづくりに取り組みました。まず、地域のトップ講師 (Super Master) に対して、セキュリティ教育及びシラバスの作成・教育実習等を行います。彼らが各分各地域のパソコン講師のまとめ役 (Master) にセキュリティ教育を行います。そして Master が実際に受講者と接するパソコン講師 (Communicator) に情報を提供します。Communicator は地域に届け込み適切な言葉で安全なインターネットの使い方をアドバイスします。これによりリスクは実感をもって捉えられることとなります。

イーパーツは、「Super Master → Master → Communicator」構造へ教育コンテンツを提供すると共に、「今、何が危険なのか」「どのように対処すべきか」をセットで提供するセキュリティ情報提供機関の役割を担っています。



マイクロソフトの NPO 支援プログラム NPODAY2006 東京、福岡、大阪

NPO は企業から学ぶことがまだまだたくさんあります。マイクロソフトが企業の経営ノウハウや IT を NPO に最適な形で提供する NPODAY2006 を、レクチャー企画という立場でサポートしました。

日時: 2006 年 4 月 21 日 (東京)、6 月 10 日 (福岡)、6 月 13 日 (大阪)

会場: 第一生命ホール (東京)、電気ビル (福岡)、梅田スカイビル (大阪)

参加者: 東京 700 人、福岡 500 人、大阪 500 人

主催: マイクロソフト株式会社

運営協力: シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会、特定非営利活動法人日本 NPO センター、特定非営利活動法人ふくおか NPO センター (福岡)、社会福祉法人大阪ボランティア協会 NPO 推進センター (大阪)

後援: 福岡県、福岡市 (福岡)

講師: ビル ゲイツ (マイクロソフト)、会田 和弘 (イーパーツ)、石神 芳文 (マイクロソフト)、緒方 麻弓子 (マイクロソフト)、奥天 陽司 (マイクロソフト)、古賀 桃子 (ふくおか NPO センター)、斉藤 玲紀 (マイクロソフト)、須藤 修 (東京大学大学院情報環教授)、関根 玲 (マイクロソフト)、祖山 美晴 (マイクロソフト)、松原 明 (シーズ)、早瀬 昇 (大阪ボランティア協会)、原水 真一 (マイクロソフト)、林 真理 (マイクロソフト)、日比野 純一 (たかとりコミュニティセンター)、森本登志男 (マイクロソフト)

分科会 2, 3 企画: 会田 和弘 (イーパーツ)



○分科会 2: NPO のための Web 入門セミナー

(NPO のための Web づくり / コンテンツの絞り込みと運営 / DotNetNuke の紹介とデモ / 個人情報保護講座 / セキュリティ)

ホームページやブログは NPO の広報・活動拡大にとっていまやなくてはならないものになっています。分科会 2 では、Web を導入する際の基礎知識から、効果的な Web をつくるコツ、スケジュール調整やファイル公開の方法、さらには Web をつけたアンケートの取り方、情報セキュリティや個人情報保護の方法などを解説しました。

はじめに Web サイトをつくるにあたり、制作の工程を明確にし共有すると共に、管理者を設け定期的な更新等の運用にも配慮すべきであることを斉藤氏より話して頂きました。その後、原水氏、関根氏より、手軽に活動報告などを公開できる DotNetNuke を紹介していただき、様々なサービスを使いこなすことも大事なことを説明して頂きました。情報は、発信するだけではなく守らなければならないものです。そこで、個人情報を取り扱うことでの注意点として、技術的な安全対策を実施すること、団体内の体制やルールづくり、スタッフ教育の大切さ、未然に防げる事故や事件を技術を味方にする事で、起こさせないこと、防ぐ努力をすることが大切であることを解説しました。

○分科会 3: NPO 活動に役立つ IT 活用術

(PowerPoint の効果的な使い方 / NPO 活動に役立つ Excel の小技 / 広報のテクニック)

ちょっとした IT の活用で、NPO 活動の効果や効率はみるみる変わります。PowerPoint で効果的なプレゼンをする方法や Excel でのデータ集計の仕方、Word を使ってのメディアに取り上げてもらえるリリースのコツなど、IT を簡易で効率よく使うための解説をしました。

単なる IT 講座にならない為、「市民放送局がメンバーを募集する為に活動発表会を開く」というシナリオの下で、祖山氏より発表会で PowerPoint の上手な使い方とアンケートを集計する場合 Excel の便利な機能を、会田が作成した「PowerPoint 資料」と「複雑怪奇な Excel 資料」にダメ出しして頂きながら解説して頂きました。また、林氏より、発表会にたくさんの人に来てもらう為、マスコミに取り上げてもらうにはどのような手順を踏んで広報すべきか、プロの広報術を伝授して頂きました。

IT 弁論大会 in 伊勢

市民活動団体が IT 技術をどのように活用しているのか、これからの情報活用をどのように考えているのか等をお互いに知り合うため、2 分間スピーチを地域の協力団体と一緒に開催し、優秀な弁論を表彰しました。

日時: 2005 年 12 月 17 日 (第 2 回) 16:00 ~ 17:00

会場: いせ市民活動センター

主催: 特定非営利活動法人 イーパーツ

共催: 特定非営利活動法人 いせ・コンビニネット

協力: (株) アイ・オー・データ機器



○最優秀賞「外国人と IT」いせ日本語教室 市橋 たね子氏

「カナダ・フィリピン・タイを初め 10 数カ国の在住外国人に日本を教えている。彼らは母国に住む家族や恋人の連絡へインターネットを使ってやっています。メールをはじめ、最近ではビデオチャットも使っています。声を聴き顔をみて安心して日本で過ごせる、だからこそ、彼らは慣れない日本語を使い仕事に勉強にがんばっています。私たちはそのがんばりを応援しています。」

市橋さんには、最優秀賞として、アイ・オー・データ機器「USB 接続ビデオチャット用カメラ CAM30V」「USB フラッシュメモリ EDM-128M」が賞品として贈られました。



○最優秀賞「障害者と IT」夢現会社バリアフリー 深田 道郎氏

「10 年前からパソコンを使って、自分のやりたいことをがんばってやってきた。体に障害があっても、パソコンで書類をまとめ、インターネットで会話ができる。支えてくれる仲間とも出会えた。障害を持つ者にとって、IT はなくてはならない。このすばらしさをたくさんの人に伝えたい。」

深田さんには、最優秀賞として、アイ・オー・データ機器「USB 接続ビデオチャット用カメラ CAM30V」「USB フラッシュメモリ EDM-128M」が賞品として贈られました。



○その他の受賞者 「子供と IT」三重ダルク 青山 大介氏

「自分が薬物依存から脱出できたのは、インターネットで相談ができたから。インターネットでダルクを知り、いろいろな人と出会い支えられこまできた。僕も、インターネットを使って、困っている子供達・薬物依存で苦しむ少年たちの役に立ちたい。」

青山さんには「USB フラッシュメモリ EDM-128M」が賞品として贈られました。



ここに掲載できなかった参加者もすばらしい弁論をなされました。

また、2005 年 6 月 24 日 16:00 ~ 17:00 同会場にて、第 1 回の弁論大会を開催しました。

レゴロボット講座

子ども達の創造性を引き出し更に伸ばすため、レゴをつかったロボット講座を開催しました。自分で作ったモノがコンピュータで思い通りに動くのは、かなり楽しいようです。

日時: 2005 年 7 月 30 日 (第 1 回) 13:00 ~ 15:00

2005 年 7 月 31 日 (第 2 回) 13:45 ~ 15:00

会場: 東京都世田谷区立旭小学校図書館

主催: 特定非営利活動法人 イーパーツ、旭 SUN SUN スクール

受講者: 小学 2 ~ 6 年生 40 人

講師: 高橋 正二郎 (イーパーツ)

スタッフ: 青木 大、須田 晃介、野口 照喜、藤井 習之、三橋 俊太郎、元持 恵、矢島 良将、谷津 浩行、山根 健司 (イーパーツ)



子ども達に人気のレゴ社マインドストームを使ってロボット講座を行いました。各回 20 人の子ども達が夏休みの学校に集い、夢中になってレゴに取り組みました。今回のレゴロボット講座では、学年と興味に合わせて以下の 3 コースを設けました。

○ R2D2 をつくってみよう

設計図を見ながら、スターウォーズでおなじみの「R2D2」を作ってみました。完成した「R2D2」には光センサーが装備されており、懐中電灯の方向へ動きます。子供たちの持つライトを追いかけられるように R2D2 が動きます。まるで本当の家来のようなようです。

子供たちは、自分の作ったものを操作できたところにロボットの醍醐味を味わったようです。



○ 初級プログラミング

レゴのマインドストームには簡単なプログラムを組んであるものがあります。コントローラのスイッチを使ってロボットの動きを打ち込み、迷路脱出口ロボットを作りました。壁にぶつかりとセンサーが働きちょっとだけ向きをかえるようにセットしました。最後に、段ボールで作った迷路を無事脱出することができました。

このような正確な動きだけではなく、昆虫の動きをするロボット、今まで見たことのないユニークな動きをするもの、カッコいいロボットなどをグループで作りお互いに発表しあいました。



○ 上級プログラミングコース

コンピュータで思い通りにレゴを制御します。なんと、プログラム画面もレゴの形なんです。ですが、内容は本格的なプログラミングです。「前進」「一端停止」「右折」「光センサーで色を判断」などを次々とセットしていきます。わからないところはコンピュータ専攻の学生がサポートします。

黒い線をセンサーで感じはみえないように車を走らせる、何度もやり直してやっとできました。プログラミングには、学校で習うのとはまた違った論理的思考が必要です。将来、この子供たちの中からロボットの専門家がでるかもしれません。



小学生の為の Word 講座 うちわをつくろう

Word をつかってクリップアートを貼り付けデザインします。あとは、それを切り抜きホネに貼ればオリジナルうちわのできあがり。

小学1年生でも60分くらいできれいなうちわが完成です。

日時: 2005年8月1日 13:00～14:15(第1回目)、14:45～17:30(第2回目)

会場: 東京都世田谷区立桜小学校パソコン室

主催: さくらっ子体験教室

共催: 特定非営利活動法人 イーパーツ

受講者: 小学1～6年生 80人

講師: 会田 和弘、青木 大、落合 利香、金田 百合絵、北澤 梓、須田 晃介、高橋 正二郎、藤井 習之、三橋 俊太郎、諸星 陽平、元持 恵、矢島 良将、谷津 浩行、山根 健司(イーパーツ)



最初に Word を起動させクリップアートを貼り付ける練習をします。小学1年生でもコンピュータができれば大丈夫。うちわ専用の Word 文書に、クリップアートをベタベタと貼って行き、背景に好きな色を付けます。それを印刷し切り取り、うちわのホネに貼ればオリジナルうちわのできあがりです。

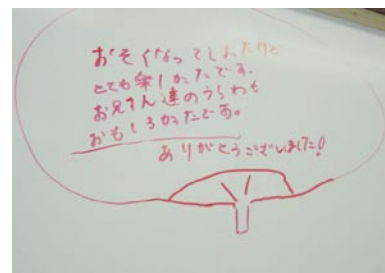
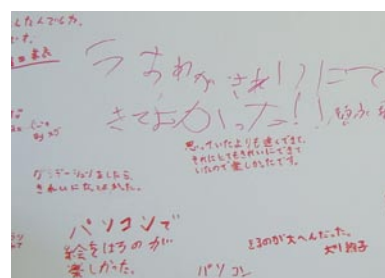
表裏デザインを変えて友だちと交換しても楽しいです。パソコンでカードを作るのはよくありますが、自分だけの日常品をつくってみるものなかなかです。

今回は、2006年7月15日に開催予定です。



参加した小学生達の感想を一部掲載いたします。

- ・思ったより簡単でした。
- ・うちわがきれいにできてよかった！
- ・楽しかった。またやりたいです。
- ・グラデーションをしたらきれいになってよかった。
- ・自分の思い通りにうちわが作れてよかった
- ・パソコンで絵をはるのがたのしかった。
- ・あんまりうまくできなかった～！！
- ・ちょっと難しかったけど楽しかったです。
- ・思っていたよりもたのしくできてそれにとってもきれいにできて楽しかったです。
- ・パソコンでうちわがつくれたので不思議でした。
- ・世界で一つしかないうちわをつくれてよかったです。
- ・一枚目に力を入れたのに、二枚目のほうがうまくいきました。
- ・みんなとつくれてよかったです。ありがとうございました。
- ・1まいに集中して裏表同じだったけど、けっさくということで、とても楽しかったです。
- ・おそくなったけど、とても楽しかったです。お兄さん達のうちわもおもしろかったです。ありがとうございました！



パソコン分解講座

コンピュータの中身はどうなっているのだろう。
自分のパソコンや家のものの中を開いてみることはなかなかできません。パソコンの構造や仕組みを、自分でネジを回し PC 分解をしながら学びます。

日時: 2006 年 3 月 25 日 13:00 ~ 15:00

会場: 石川県立中央児童会館

主催: 全国 etown フォーラム

協力: 特定非営利活動法人 イーパーツ、特定非営利活動法人 ケーネット
知楽市

受講者: 小学生 20 人

講師: 会田 和弘、高橋 正二郎、野口 照喜 (イーパーツ)

アシスタント: ケーネット知楽市

メディア掲載: テレビ金沢「金沢 PC 分解講座」、北國新聞「パソコンの構造を知る」、北陸中日新聞「パソコンの分解 広がる好奇心」



同様の講座を、東京都世田谷区立駒留中学校 (2006 年 7 月 8 日、13:00~15:00)、東京都世田谷区立桜小学校 (2006 年 3 月 4 日、10:00~12:00)、いせ市民活動センター (2005 年 12 月 17 日、14:30~16:00)、熊本県山江村郷土資料館 (2005 年 9 月 11 日、14:00~15:30)、神戸市ひょうごんテック (2005 年 7 月 24 日、13:00~16:00)、山形市民活動センター (2005 年 7 月 2 日、13:00~14:50) で開催しました。くわしくは、<http://www.eparts-jp.org/project/PCbunkai/index.html> をご覧下さい。

パソコンをグループになって、パソコンを分解します。カバーを外して、細かい配線やマザーボード上のたくさんの部品、ハードディスクの仕組みを見ながら、最後までバラバラにしていけます。身近になったパソコンですが、分解し中身を調べられる機会はそうそうありません。分解を通して、子供たちに、科学・ものづくりのすばらしさを体感してもらいました。一部ですが、金沢の子供たちの感想を掲載します。(4 年生~6 年生が 20 名参加)

Q. 一番気に入った部品はなんですか？

A. ハードディスク (6 名)、マザーボード (5 名)、ファン (4 名)、CPU (2 名)
モデム、キーボード、CD-ROM、液晶の画面、モニター、特になし (各 1 名)

Q. パソコンを分解して、おもしろかったところはどこですか？

A. ネジをぬく・まわすところ (6 名)、パソコンの仕組みが分かる (2 名)、分解そのもの (2 名)、CPU (2 名)、マザーボード (2 名)
以下コメントも一部掲載

- ・いろいろな物があって何がどこにあるのかが分かるのでよかった。
- ・パソコンのしくみがわかってよかった。ぶんかいする、ドキドキワクワクがあって楽しかった。
- ・見たことのない部品がたくさんあり、ねじを回して壊すのがとても面白かったです。
- ・分解しないとわからないところがあったこと。
- ・ゴムがノートパソコンにあったこと。
- ・バカッとはずすところがあったところ。

Q. 次にどんなことがしたいですか？

A. テレビの分解 (7 名)、もっとパソコンを細かく分解したい (4 名)、パソコンを作りたい (3 名)、ラジカセ (2 名)
冷蔵庫を分解したい、パソコン (大) を分解したい、分解したのを元に戻したい、ニンテンドーDS、エアコン (各 1 名)

レクチャー・スペシャルプロジェクト

2005 年度 実施記録一覧

2005.7.1 より 2006.6.30 までに、レクチャー・スペシャルプロジェクトとして、様々な団体と様々な講座・講演・シンポジウム等を実施しました。

レクチャー・プロジェクト名	種別	実施日	受益者数	実施場所
【情報を考えるシリーズ】				
宣伝費ゼロの広報術	講座	2005.9.3	70 人	東京都世田谷区
市民にとってメディアとは	シンポジウム	2005.9.25	70 人	東京都世田谷区
		計	140 人	2 回
【情報セキュリティ】				
長岡市インターネット安全キャンペーン	イベント	2005.6.18 ～ 7.15	20 人	新潟県長岡市
きっずインターネット安全体験	講座	2005.7.2	20 人	山形県山形市
東京電子専門学校「ネットしてますか？」	ワークショップ	2005.7.9	30 人	東京都豊島区
インターネット上での誹謗中傷に関するセミナー	講座	2005.7.9	10 人	横浜市港南区
Microsoft UP IT 教育者むけセキュリティ講習	講座	2005.7.14	50 人	大分県大分市
旭小学校インターネット安全キャンペーン	イベント	2005.7.15	200 人	東京都世田谷区
インターネットの危険性と注意点	講演	2005.7.27	20 人	横浜市中区
インターネットの危険性と注意点	講演	2005.7.27	20 人	横浜市戸塚区
個人情報の扱い方	講演	2005.8.17	30 人	横浜市港北区
情報セキュリティ講師養成講座	講演	2005.8.30	10 人	大分市
大分セキュリティ体制づくり	プロジェクト	2005.9.1 ～ 2006.7.28	60 人	東京都世田谷区、大分市
港南台パソコン相談	講座	2005.9.7 ～ 2005.12.7	20 人	横浜市港南区
個人情報保護セミナー	講座	2005.10.14, 2005.10.18	40 人	東京都世田谷区
セキュリティレクチャー	講座	2005.11.2	5 人	横浜市港南区
個人情報保護講座	講座	2005.11.28	20 人	東京都世田谷区
プライバシーポリシーをつくってみて	講座	2005.12.12	10 人	横浜市中区
洋光台第 1 小学校 ウィルス体験講座	講座	2006.2.5	20 人	横浜市磯子区
明日から何ができる？ NPO 団体の個人情報保護	ワークショップ	2006.3.18	20 人	神戸市長田区
浦安市情報セキュリティ研修会	講演	2006.3.22	50 人	千葉県浦安市
日本セキュリティマネジメント学会	講演	2006.6.17	100 人	東京都千代田区
		計	755 人	21 回
【市民、市民活動団体への情報化支援】				
市民活動の為にブログ講座「ブログの力」	講座	2005.9.17	20 人	東京都世田谷区
パワーポイント講座ープレゼンテーションの手法	講座	2005.11.20	8 人	東京都世田谷区
IT 弁論大会	ワークショップ	2005.12.17	20 人	三重県伊勢市
IT 弁論大会	ワークショップ	2006.3.18	20 人	神戸市長田区
Microsoft NPODAY 2006	企画	2006.3.24 ～ 4.12		東京都新宿区
Microsoft NPODAY 2006 分科会 3	講座	2006.4.21	80 人	東京都中央区
Microsoft NPODAY 2006 分科会 2	講座	2006.6.10	80 人	福岡市中央区
Microsoft NPODAY 2006 分科会 2	講座	2006.6.13	80 人	大阪市北区

Annual Report 2005

レクチャー・スペシャルプロジェクト

Microsoft NPODAY 2006 パネルディスカッション	講演	2006.6.13	300 人	大阪市北区
アクセス講座ー市民活動のデータベース利用	講座	2006.5.27	5 人	東京都世田谷区
計			613 人	10 回
【防災、災害復興支援】				
港南台テント村特別企画「神奈川 & 新潟のコラボ」	イベント	2005.11.5	200 人	横浜市港南区
※新潟中越震災復興支援プログラム				
計			200 人	1 回
【障害者支援】				
障害児パソコン絵画展「ハートフルアートサロン」	イベント	2005.8.25 ～ 29	100 人	東京都葛飾区
Illustrator 障害者自立のツール	ワークショップ	2006.3.6	3 人	東京都世田谷区
Illustrator 障害者支援の新しいツール	講座	2006.3.11	20 人	大分県大分市
障害者パソコン教室	講座	2006.4.6 ～ 7.27 (12 回)	60 人	東京都世田谷区
計			183 人	15 回
【子供たちへの情報教育支援】				
PC 分解講座	講座	2005.7.2	20 人	山形県山形市
スクイーク～はじめてのプログラミング	講座	2005.7.16	20 人	東京都世田谷区立旭小学校
PC 分解講座	講座	2005.7.24	10 人	神戸市長田区
レゴ ロボット講座	講座	2005.7.30	20 人	東京都世田谷区立旭小学校
レゴ ロボット講座	講座	2005.7.31	20 人	東京都世田谷区立旭小学校
Word でうちわをつくろう 1	講座	2005.8.1	40 人	東京都世田谷区立桜小学校
Word でうちわをつくろう 2	講座	2005.8.1	40 人	東京都世田谷区立桜小学校
PC 分解講座	講座	2005.9.11	10 人	熊本県山江村
スクイーク～はじめてのプログラミング 1	講座	2005.10.22	20 人	東京都世田谷区立桜小学校
スクイーク～はじめてのプログラミング 2	講座	2005.10.22	20 人	東京都世田谷区立桜小学校
スクイーク～はじめてのプログラミング 3	講座	2005.10.22	20 人	東京都世田谷区立桜小学校
PC 分解講座	講座	2005.12.17	20 人	三重県伊勢市
PC 分解講座	講座	2006.3.4	20 人	東京都世田谷区立桜小学校
PC 分解講座	講座	2006.3.25	20 人	石川県立児童館
PC 分解講座	講座	2006.5.6	20 人	石川県立児童館
計			320 人	15 回
320				
【学校への情報教育支援】				
日立製作所社「IT 教育ボランティア」	講演	2005.7.11	20 人	東京都千代田区
親子でインターネット安全運動教室	講演	2005.7.16	20 人	横浜市立洋光台第一小学校
横浜市教育委員会「著作権と情報モラル」	講演	2005.8.2	200 人	横浜市中区
ティーンズのイメージ「ネット・ケータイ・子ども」	講演	2005.10.5	5 人	東京都世田谷区
「インターネットを上手に使う」	ゲストティーチャー	2005.10.26	60 人	東京都品川区立杜松小学校
相模原市教育委員会「学校の Web 戦略」	講演	2005.11.14	60 人	神奈川県相模原市
ウィルス体験講座	講座	2006.2.5	30 人	横浜市立洋光台第一小学校
横浜市教育委員会「子供を取り巻く Internet 環境」	講演	2006.5.12	70 人	横浜市戸塚区
計			465 人	8 回
総計			2676 人	72 回

メディア掲載記録

2005.7.1 ～ 2006.6.30 までに、イーパーツ関連でメディアに掲載されました。

メディア名	掲載・報道時期	タイトル
テレビ		
上大岡ケーブルテレビ	2005/7/9	「インターネット上での誹謗中傷に関するセミナー」
テレビ金沢	2006/3/27	金沢 PC 分解講座
TOS テレビ大分	2006/7/2	「IT 活用で障がい者の自立支援を！」
		大分リユース PC 寄贈プログラム寄贈式及びパネルディスカッションの紹介報道
新聞		
大分合同新聞	2005/7/15	「IT セキュリティ普及へ 講師養成事業を開始」
日本経済新聞	2005/9/8	「会員や寄付金を増やすため NPO 向けセミナーを開催」
		「宣伝費ゼロの広報術」 セミナー紹介記事
東京新聞	2005/9/25	「市民にとってメディアとは」 情報を考えるシリーズ 4 紹介記事
大分合同新聞	2006/1/1	「ネット社会大分から提言」 地域密着型情報セキュリティモデル紹介記事
北國新聞	2006/3/26	「パソコンの構造を知る」 PC 分解講座の紹介記事
北陸中日新聞	2006/3/26	「パソコン分解 広がる好奇心」 PC 分解講座の紹介記事
Web ニュース		
ITpro Windows、Mainichi 他	2006/4/21	マイクロソフトが NPO 支援策を拡大、参加者と記念撮影。野田聖子衆議院議員の姿も
ZDNet、ASCII24 他	2006/4/22	「Microsoft NPO Day」開催 -- 「テクノロジーで NPO を支援する」と Gates 氏
		NPO DAY2006 ビル・ゲイツ氏とイーパーツ会田他との写真報道

イーパーツについて

会計報告

科目	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
I 収入の部				
1) 会費寄付金収入	2,700,000	5,971,429	7,770,000	8,371,429
2) 事業収入				
情報機器の再利用	0	0	324,505	441,440
情報機器の利用に必要な技術の供与	48,160	4,350,944	1,904,860	2,309,180
非営利団体の運営、活動に関する研究	25,000	0	0	485,690
収益事業 出版	0	0	0	29,400
3) その他 (PC 購入費、消費税など)	13,766	2,272,991	79,225	471,591
4) 前年度繰越金	5,625,023	375,601	2,317,675	1,560,939
収入合計	8,411,949	12,970,905	12,396,265	13,669,669
II 支出の部				
1) 事業費				
特定非営利活動に係る事業				
情報機器の再利用	530,884	2,249,952	718,629	1,135,389
情報機器の利用に必要な技術の供与	12,283	372,200	824,616	1,549,415
非営利団体の運営、活動に関する研究	0	0	2,000	409,133
非営利団体相互の交流の促進	0	0	0	0
事業費支出合計	543,167	2,622,152	1,545,245	3,093,937
2) 管理費				
人件費	2,348,800	5,383,343	5,735,323	4,169,070
運賃・旅費	296,310	534,920	440,690	451,930
通信・光熱費	331,377	235,205	246,262	228,668
消耗品費	293,435	305,233	275,073	468,303
支払手数料	851,395	25,920	151,464	329,056
地代家賃	2,017,440	1,320,000	1,430,000	1,320,000
会議費	58,724	103,300	98,889	144,546
出張費	35,660	0	0	0
広報費	410,000	33,720	320,880	9,205
雑費	846,330	54,594	30,400	42,615
租税公課	200	2,000	1,000	8,000
雑損	3,510	32,903	1,500	0
備品	0	0	558,600	0
管理費支出合計	7,493,181	7,998,235	9,290,081	7,171,393
支出合計	8,036,348	10,653,290	10,835,326	10,265,330
次年度繰越金	375,601	2,317,675	1,560,939	3,404,339
未払金・所得税・消費税預り金	27,918	409,883	101,730	525,277

団体概要

イーパーツは、リユース PC を寄贈する活動やシンポジウムの開催などを通して、非営利組織、ボランティア団体、障がい者支援グループの情報化を目的とする特定非営利活動法人です。

- 名称 特定非営利活動法人イーパーツ（東京都認証）
- 設立 2002 年 5 月 23 日
- 所在地 〒 154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-17-4 メゾンクロニア 307
TEL & FAX : 03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org
URL : <http://www.eparts-jp.org/>
- 役員
- | | | |
|------|--------|------------------------|
| 代表理事 | 佐々木 良一 | 東京電機大学 教授 |
| 常務理事 | 会田 和弘 | 東京電機大学 産能短期大学 兼任講師 |
| 理 事 | 大塚 裕司 | (株)大塚商会 代表取締役社長 |
| 同 | 緒方 麻弓子 | マイクロソフト(株) |
| 同 | 西部 忠 | 北海道大学 助教授 |
| 同 | 細野 昭雄 | (株)アイ・オー・データ機器 代表取締役社長 |
- 支援企業 株式会社大塚商会
マイクロソフト株式会社
株式会社アイ・オー・データ機器
- パートナー企業 アドビシステムズ株式会社
株式会社アルファテクノ
トレンドマイクロ株式会社
日本電気株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社日本ビジネスリース
株式会社リコー

特定非営利活動法人イーパーツ活動報告書（2005.7 ～ 2006.6）

発行日：2006 年 7 月 28 日

編集・発行：特定非営利法人イーパーツ

〒 154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-17-4 メゾンクロニア 307

TEL & FAX : 03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org

URL : <http://www.eparts-jp.org/>

(C)2006 eparts, All Rights Reserved

